

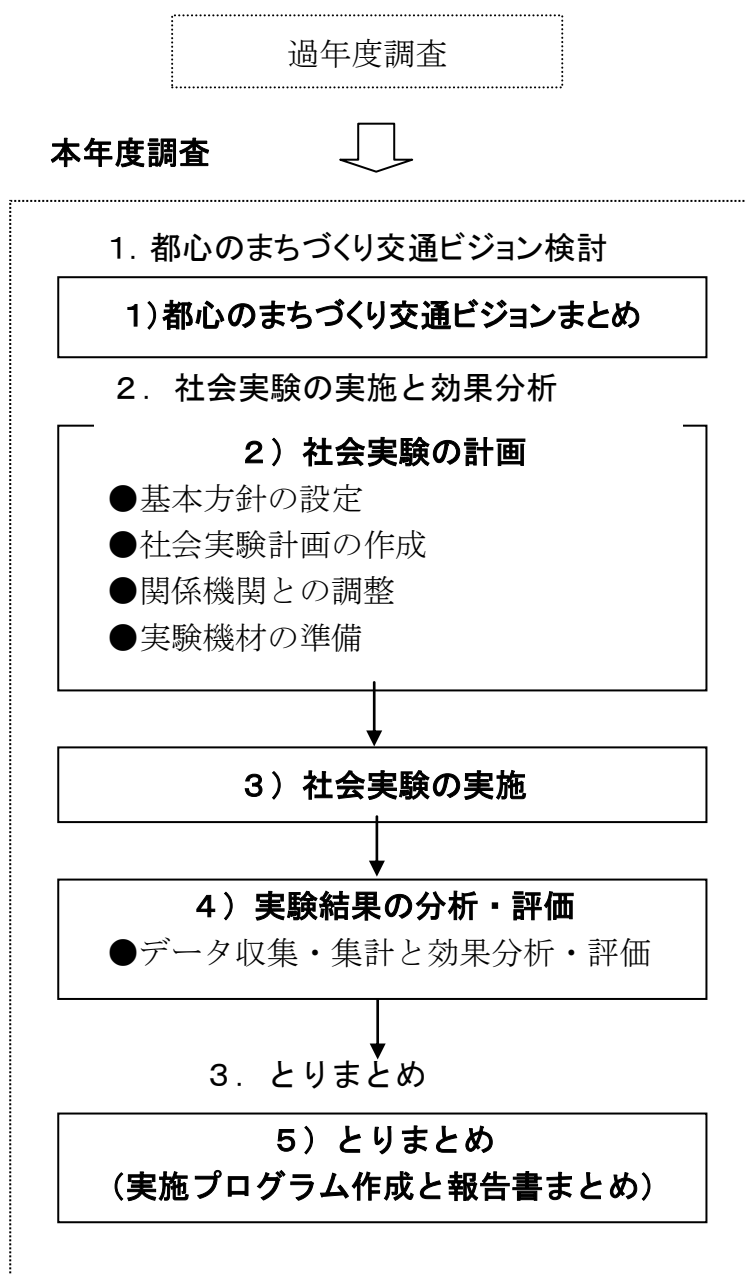
川越市北部中心市街地交通社会実験内容について

1 目的

川越市のまちづくり施策の一環として検討を重ねてきている北部中心市街地（『一番街』周辺）における交通施策を定め、その本格運用に向けた課題や影響を検証する社会実験の実施と、施策の評価検証及び実施に向けたプログラムの作成を目的とする。

2 調査対象区域 一番街及びその周辺地域（別図参照）

3 調査フロー



4 調査項目及び内容

1. 都心のまちづくり交通ビジョン検討

1) 都心のまちづくり交通ビジョン検討

川越市における上位計画、既存調査より、

- 川越市のおかれている状況、●都市的課題と課題対応策
- 都市構造転換の必要性と方向性、●都心将来ビジョン
- 交通円滑化施策とその方向性、●関連交通計画・関連事業等を整理し、『都心のまちづくり交通ビジョン』をとりまとめる。

2. 社会実験の実施と効果分析

2) 社会実験の計画

- イ. 基本方針の設定、ロ. 社会実験計画の作成
- ハ. 関係機関との調整、ニ. 実験機材の準備

3) 社会実験の実施

【社会実験内容】（北部中心市街地交通円滑化方策検討委員会等で確認した内容）

実施期間 平成21年11月7日（土）から23日（月祝日）の17日間

- 実施内容
- 平日：札の辻交差点⇒仲町交差点間（約400m）を終日一方通行規制とする案
※一方通行については、札の辻交差点から仲町交差点の北から南向きの一方通行として路面表示を修正し、車線を中央に移し歩道を両側拡幅して実施する。
 - 土・日・祝日：札の辻交差点間⇒仲町交差点（約400m）の終日一方通行規制と、時間による車両通行止めの2ケースを実施する。
※14日～15日と21日～23日の土休日、10時～16時を車両通行止めとする。
 - 交通規制による影響範囲の確認
 - ・過年度の交通シミュレーション結果等既存調査結果を参照し確認する。
 - ・規制無しの状態と、規制時の影響を比較評価できる調査項目を設定する。
 - アンケート調査 等

- 実施方法
- ・計画・実施マニュアルを作成し、実験に必要な機材・人員の配置。
 - ・社会実験を円滑に実施するため、社会実験PR及び案内誘導方策に関する情報提供を目的として、案内誘導看板、PRポスター及びチラシの作成を行なう。
 - ①誘導看板の作成・設置（誘導看板 100枚、大型看板 30枚程度）
 - ・交通規制看板 ・渋滞告知看板 ・迂回誘導看板 等
 - ・道路案内標識（青色）についても現状の内容を調査し検討する。
 - ②広報紙・チラシ・ポスター・回覧等の作成、配布手配。
 - ③周知イベント・説明会等の実施
 - ④必要な用地、駐車場等の手配（借り上げ、仮設レンタル、使用料）
 - ・14日～15日と21日～23日の土休日については、通行止めのため沿線の駐車場が使用出来なくなる。（タイムズ川越幸町駐車場は出庫可能）

- ・ 市役所駐車場待ちの渋滞も発生するため、城下第1・第2駐車場へ誘導
 - ・ P&Rの検討（城下第1・第2駐車場から市役所（公用車管理棟の間など）
- ⑤交通整理員・安全施設等の警備計画を作成、人員の手配。
- ⑥実施本部・休憩施設のレンタル（放送設備、ベンチ、テーブル、パラソル等）
- ⑦路面表示の修正 など
- ・ 社会実験の効果・影響を評価するため、関連調査を実施する。
 - ・ 調査は、以下のような調査を実験事前（平・休日）・実験中に予定する。
 - ・ 各調査とも平・土・休日で交通規制の違い毎に1回は行うものとする。

調査内容一覧

調査のねらい		調査種類	対象地域・路線	対象地点等	備考
周辺道路への影響 自動車交通量・渋滞状況	・交通負荷の状況把握 ・新たな課題の発生把握	主要交差点における自動車交通量調査	周辺地域の主要道路	11箇所程度	警察の協力
		主要交差点におけるピーク時渋滞長調査	(同上)	(同上)	警察の協力
		自動車走行速度調査	周辺地域道路の主要区間	5箇所程度	バスの協力
観光客等歩行者、二輪車の交通量	・交通規制策の歩行者交通等への効果	歩行者・自転車通行量調査	一番街通り	4箇所程度	埼玉大共同研究
細街路の交通状況	・細街路への迂回状況	目視・必要があれば交通量調査	一番街周辺の市道	各路線・交差点	
振動の発生状況	・自動車交通による振動の影響把握	振動調査 振動の蔵造り等への影響調査	一番街隣接用地	1～3箇所程度	
アンケート 観光客・来街者への影響	・観光客・来街者への影響把握	来街者へのアンケート調査	一番街通り及びその周辺地域	来街者	埼玉大共同研究
アンケート 地域住民・沿道商業施設への影響	・地域住民、沿道商業施設への影響等	地域自治会・住民へのアンケート調査	一番街周辺21自治会の地域	地域住民	埼玉大共同研究

4) 実験結果の分析・評価

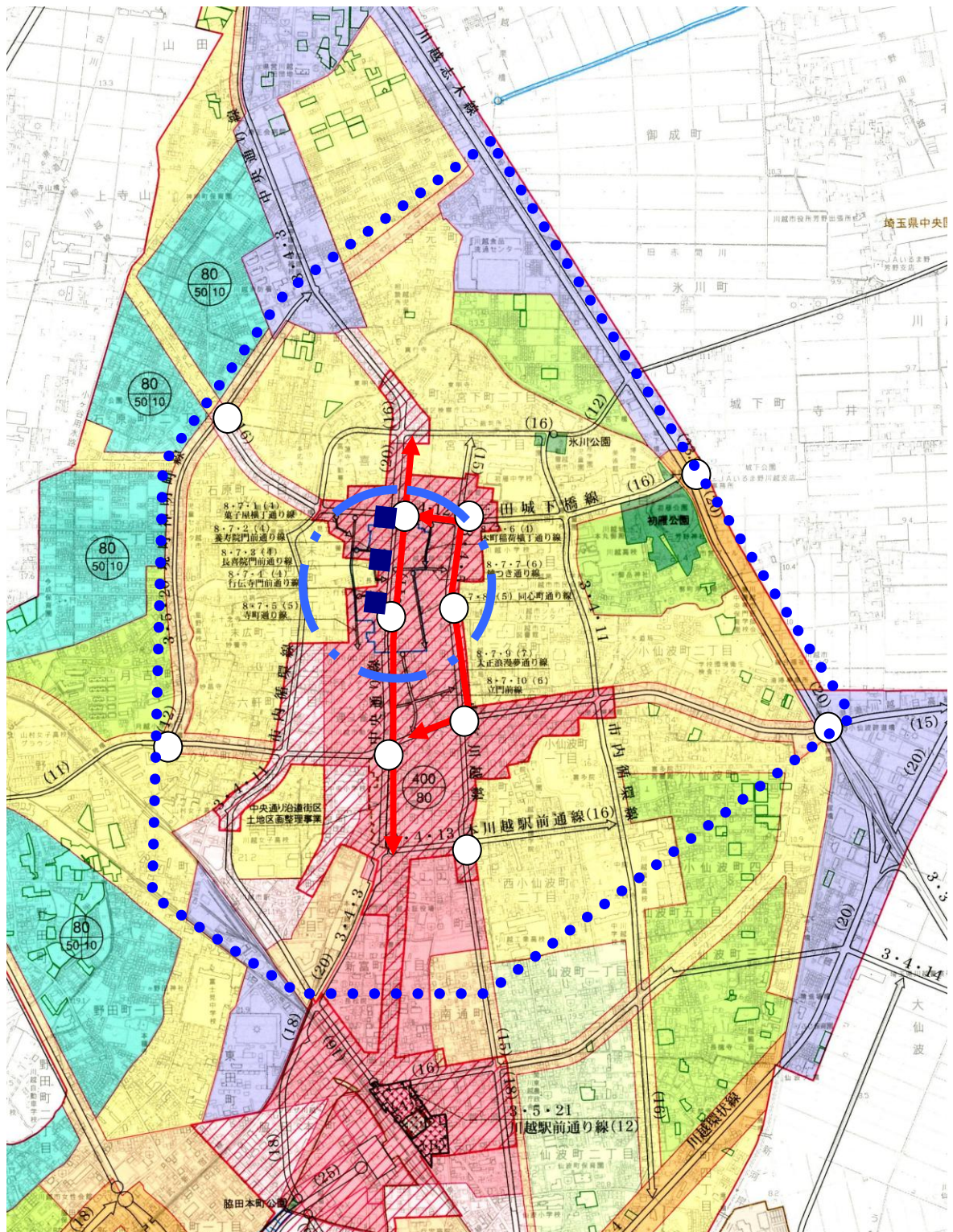
調査結果及び関係機関・関連調査で把握しているデータを収集し、社会実験の結果を整理する。社会実験の効果・影響を把握し、評価検証し、今後の展開に必要な対応を整理する。

3. とりまとめ

5) とりまとめ（実施プログラムの作成と報告書のまとめ）

(1)～(2)までの検討結果をとりまとめ、戦略的交通施策（将来の地域交通対応策として、車両通行規制と併せて実施する誘導施策等のパッケージ化した総合的な交通施策）の実現化へ向けてのプログラムを整理する。

交通社会実験調査対象地域 位置図



- ■ ■ : 社会実験区間
- : 交差点・渋滞長調査地点 (案)
- ↔ : 自動車走行速度調査地点 (案)
- ● ● ● : 調査検討区域
- — : 細街路状況調査